

## ライビメージの使い方

本特集で取り上げたオープンソース系CMSを体験できる「ライブイメージ」を用意している。ライブイメージとは、インストール作業をせずにOSを起動可能なシステムのこと、仮想マシンで動作するイメージ、CD/DVDに書き込むためのISOイメージなどがある。今回提供しているイメージでは、Linux (Ubuntu) 上に、必要となるソフトウェア (Apache、MySQL、PHPなど) を組み込み、それぞれのCMSツールをインストールして設定までを行い、各CMSを選択して体験できるようになっている (01)。


対応仮想マシンは、無料で使える「Sun xVM VirtualBox」 (<http://jp.sun.com/products/software/virtualbox/>) だ。Windows用、Mac OS X用などがあるので、自分の環境に合ったものをインストールしておいてほしい。VirtualBoxのインストール自体は、特に難しいものではないはずだ。本稿ではWindows版を使って説明するが、Mac OS X版でも同じように利用できる。

webdesigning.zip をダウンロードして展開すると、webdesigning.vdi というVirtualBox用ライブイメージが得られる。VirtualBoxを起動して、「新規」ボタンを押し、02のように新規仮想マシンを作成する。デフォルトのまま「次へ」を押して進み、「仮想ハードディスク」の設定で「既存のハードディスクを使用」を選択し、webdesigning.vdi を指定する (03)。

あとは、VirtualBoxのメインウィンドウから「起動」を押す (04) と、Ubuntu が起動する (05)。ツールバー (画面上部) のアイコンを押してFirefoxを起動すると、各CMSのトップページと管理画面へのリンクが表示され、それぞれのCMSを体験できる。なお、各CMSの管理画面へのアクセスは、管理者名「admin」、パスワード「webdesigning」で登録されている。また、OpenPNEの一般ユーザーは「sns@example.com」、パスワードは「wd」だ。

なお、このライブイメージは、OSとしてUbuntu 9.04を使い、Apache 2.2.11、MySQL 5.1.30、PHP 5.2.6をセットアップしている。収録したCMSを含めたコンテンツが/var/www/以下に格納されているので、CMSやWebコンテンツの開発テストに利用してほしい。ただし、あくまでもCMSを体験するために構築されており、公開サーバとして使うためのセキュリティ設定などは行われていないことには注意が必要だ。

また、これらのソフトウェアを開発し、オープンソースライセンスで公開されている方々に感謝したい。

 何らかの理由でVirtualBoxが利用できない場合、あるいは、このイメージを持ち歩けるように、ISOイメージファイルも用意している。ISOイメージをDVD-Rに書き込んで、DVDからPC (Macは非対応) を起動すれば、同じようにUbuntuが起動してCMSを体験できる。ただし、CMSに変更を加えても、その変更は保存されない。CMSでデザインなどのカスタマイズを行っているのであれば、VirtualBoxから起動しよう。

Free Download



ライブイメージをダウンロード!  
<http://book.mycom.co.jp/wd/CMS/>



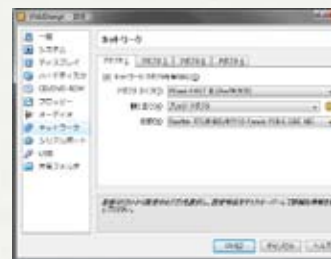
01\_ Firefoxを起動すると、各CMSへのリンクがある。リンクをクリックすると、それぞれのCMSが体験できる



05\_ 仮想マシンを起動させたときのUbuntuの画面。ツールバーにFirefoxアイコンが、デスクトップ上に「IPアドレス」アイコンがある



02\_ 「名前」は任意のものを指定し、「オペレーティングシステム」は「Linux」を、「バージョン」は「Ubuntu」を選択する



06\_ 仮想マシンの設定で「ネットワーク」を「ブリッジ」に変えておくと、ホストOSからもCMSにアクセスできるようになる



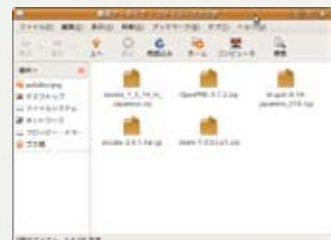
03\_ 仮想マシンのハードディスクは「既存のハードディスクを使用」を選び、webdesigning.vdiを設定する



07\_ デスクトップ上のIPアドレスアイコンから開くダイアログに表示されているURLを、ホストOSのブラウザからCMSを使う



04\_ このように設定した仮想マシンの例。ここで、「WD」を選択して「起動」を押すと、各CMSが体験できるUbuntuが起動する



08\_ デスクトップの「使用アーカイブ」フォルダにCMSのアーカイブが入っている。インストールを自力で行うには、これを利用する